

4月のびんがら

引き継がれる安平のブランド

4月5日、安平町追分にある安平町実践農場で開所式が行われました。

この農場は、農業の新たな担い手を育成することを目的に設置され、育苗用や栽培用のハウスが合計11棟ある広大な施設です。

既に3名の就農研修生が、先輩の指導のもと初出荷に向けてアサヒメロン作りに励んでいます。



活動をサポート

4月8日、プロセスグループ夢民舎から早来フェリーFCに対し、クラブの活動とニコニコカップ大会運営への協賛金が手渡されました。

「怪我に気をつけて頑張つてサッカーに取り組んで」という西嶋基専務からの言葉に、協賛金を受け取った主将の今岡大地くんは、「全道大会に出場できるように頑張りたい」と抱負を述べていました。

管内で16人目の指導林家に

造林、造材などの造林業の後継者育成も努める小林正道氏（マルコ小林代表取締役）が、平成27年度北海道指導林家に認定され4月13日、胆振総合振興局森林室大堀室長より認定証と腕章、バッジが伝達されました。

代々引き継ぐ広大な山林を管理し、林業家としての技術・知識の研さんをはかる傍ら、安平町商工会役員などを長く歴任するなど、地域リーダーとしても活動しています。



美化活動で地域貢献

4月15日、早来自衛隊曹友会の皆さんによるごみ拾いボランティアが、国道234号線沿い（あかね団地周辺）で行われました。

今回の活動は、春のクリーン作戦に併せて行われたもので、会員約40名が参加。約2時間ほどで20リットルのごみ袋10袋が、ごみなどといったばいになり、雪解けの道端も見違えるほどに。作業に当たられた会員の皆さんお疲れ様でした。

40周年を盛大に

4月15日、発足から40周年を迎えた追分老人クラブ青葉会の記念祝賀会が、青葉会館で開催されました。

祝賀会では、会員として長く在籍する方々を表彰、瀧町長をはじめ社会福祉協議会荒木会長も出席する中、歌や踊りなどの余興で盛り上がり、会員相互の交流を深める場となったようです。

青葉会の益々の発展と、会員皆様のご健勝をご祈念しています。

